

平成26年8月 全国百貨店売上高概況

平成26年9月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,272億円余
2. 前年同月比	-0.3% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	84社 241店 (平成26年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,141,069㎡ (前年同月比:-1.5%)
5. 総従業員数	79,195人 (前年同月比:-3.2%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	1-3月 11.0%、2-4月 6.5%、3-5月 4.1%、 4-6月 -6.9%、5-7月 -3.7%、6-8月 -2.6%

[参考] 平成25年8月の売上高増減率は2.7% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

天候不順の影響で5か月連続のマイナスとなったが、減少幅は-0.3%と前月(-2.5%)から2.2ポイント改善して、ほぼ前年並みの水準まで戻してきた。消費税率引上げによる駆け込み需要の反動は、地域によって若干の差異はあるものの、着実に回復基調が続いている。

本年8月は、上旬に2つの台風(11号・12号)が相次いで接近・上陸したほか、西日本を中心に各所で大雨となるなど不安定な天候の影響を受け、月の前半までは低調に推移したが、各店が集客・販促施策を積極展開したことや、下旬からの気温低下で秋物需要が盛り上がったこと、更には前年に比べて日曜日が増加したことなどもあって、月の後半から増勢を強め、最終的には前年実績に迫る水準まで回復する結果となった。これにより本年1月-8月累計売上高は、4兆246億円余(前年同期比:店舗数調整後+1.3%/店舗数調整前+0.8%)となった。

地区別では、前年実績をクリアした6地区(東京+1.3%、大阪+2.5%、横浜+0.8%、神戸+0.5%、福岡+2.4%、四国+0.2%)が寄与して、大都市(10都市:+0.5%)が税率引上げ後初めてプラスとなった一方、地方(10都市以外:-1.9%)も前月(-4.9%)から3ポイント改善し回復テンポを高めている。

商品別には、主要5品目の内、ラグジュアリーブランド等の特選雑貨が好調な「身のまわり品(+1.6%)」と、前月から活況が続く化粧品(+4.1%)やフェア企画で復調が鮮明な高級時計を含む「雑貨(+0.8%)」がプラスとなったほか、秋物のプロパー商材(定価品)が良く動いた「衣料品(-1.2%)」や「食料品(-0.6%)」も堅調に推移した。

訪日外国人売上高は、中華圏(中国、台湾等)とアセアン(タイ、シンガポール等)を中心に、韓国も復調して、売上高(+41.3%)・購買客数(+53.9%)共に大幅増(19か月連続プラス)となり、8月として過去最高の売上高(約47億円)を記録するなど、引き続き大都市の商況を底上げしている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
 - ◇ 太平洋高気圧が弱く、湿った気流の影響で日照時間は少なく低温で推移した。また、台風11号・12号が相次いで接近・上陸したため各地で大雨となった。特に西日本では降雨量が平年比301%と統計開始以来最高値を記録した。
- (2) 営業日数増減 30.6日(前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日(" +1日/日曜1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数135店舗)
 - ①増加した:32店、②変化なし:34店、③減少した:69店
- (5) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上/有効回答数104店舗)
 - ①増加した:19店、②変化なし:54店、③減少した:31店

全国百貨店 売上高速報 2014年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	427,237,649	100.0	-0.3 (-0.4)
10都市	287,235,979	67.2	0.5
札幌	11,352,005	2.7	-0.5
仙台	5,850,079	1.4	-1.5
東京	105,535,021	24.7	1.3
横浜	25,416,923	5.9	0.8
名古屋	26,158,557	6.1	-1.3
京都	17,908,591	4.2	-7.5
大阪	59,327,290	13.9	2.5
神戸	11,413,623	2.7	0.5
広島	9,511,463	2.2	-1.9
福岡	14,762,427	3.5	2.4
10都市以外の地区	140,001,670	32.8	-1.9 (-2.2)
北海道	2,360,659	0.6	-2.3
東北	7,616,136	1.8	-0.2
関東	64,558,451	15.1	-2.9 (-2.7)
中部	10,875,628	2.5	-2.3
近畿	15,118,967	3.5	-1.3
中国	10,026,973	2.3	-2.1
四国	6,813,386	1.6	0.2 (-8.0)
九州	22,631,470	5.3	-0.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	427,237,649	100.0	-0.3 (-0.4)
紳士服・洋品	22,300,487	5.2	1.5 (1.3)
婦人服・洋品	82,443,545	19.3	-2.4 (-2.6)
子供服・洋品	9,014,095	2.1	3.5 (3.3)
その他衣料品	11,058,134	2.6	-0.4 (-0.6)
衣 料 品	124,816,261	29.2	-1.2 (-1.3)
身のまわり品	55,302,573	12.9	1.6 (1.5)
化粧品	27,124,336	6.3	4.1 (4.0)
美術・宝飾・貴金属	21,785,178	5.1	-4.2 (-4.5)
その他雑貨	19,101,848	4.5	2.3 (2.1)
雑 貨	68,011,362	15.9	0.8 (0.6)
家 具	5,605,353	1.3	-10.8 (-11.0)
家 電	1,195,600	0.3	4.7 (4.6)
その他家庭用品	14,733,688	3.4	0.6 (0.6)
家 庭 用 品	21,534,641	5.0	-2.4 (-2.5)
生 鮮 食 品	26,620,064	6.2	-1.9 (-1.9)
菓 子	37,008,048	8.7	-0.1 (-0.1)
惣 菜	28,753,269	6.7	0.4 (0.5)
その他食料品	34,134,745	8.0	-0.9 (-0.9)
食 料 品	126,516,126	29.6	-0.6 (-0.6)
食 堂 喫 茶	16,536,610	3.9	-2.8 (-3.0)
サ ー ビ ス	5,575,817	1.3	-0.9 (-0.9)
そ の 他	8,944,259	2.1	5.2 (5.1)
商 品 券	10,894,061	2.5	-4.0 (-4.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 0.5% (5か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.9% (店舗数調整後/5か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.5	0.3	5か月ぶりプラス
札幌	-0.5	0.0	5か月連続マイナス
仙台	-1.5	0.0	5か月連続マイナス
東京	1.3	0.3	5か月ぶりプラス
横浜	0.8	0.0	5か月ぶりプラス
名古屋	-1.3	-0.1	5か月連続マイナス
京都	-7.5	-0.3	5か月連続マイナス
大阪	2.5	0.3	2か月連続プラス
神戸	0.5	0.0	5か月ぶりプラス
広島	-1.9	0.0	5か月連続マイナス
福岡	2.4	0.1	5か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-1.9	-0.6	5か月連続マイナス
北海道	-2.3	0.0	5か月連続マイナス*
東北	-0.2	0.0	5か月連続マイナス*
関東	-2.9	-0.5	5か月連続マイナス
中部	-2.3	-0.1	5か月連続マイナス
近畿	-1.3	0.0	5か月連続マイナス
中国	-2.1	-0.1	5か月連続マイナス*
四国	0.2	0.0	5か月ぶりプラス
九州	-0.1	0.0	5か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、身のまわり品と雑貨が5か月ぶりにプラスとなった。また、その他の3品目も改善を見せた。化粧品と家電が2か月連続、紳士服・洋品、子供服・洋品、その他雑貨、その他家庭用品、惣菜が5か月ぶりにプラスとなった。その他では、家具が先月よりマイナス幅を広げた以外は先月の伸びを上回った。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.3	-	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	1.5	0.1	5か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-2.4	-0.5	5か月連続マイナス
子供服・洋品	3.5	0.1	5か月ぶりプラス
その他衣料品	-0.4	0.0	5か月連続マイナス
衣料品	-1.2	-0.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	1.6	0.2	5か月ぶりプラス
化粧品	4.1	0.3	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.2	-0.2	5か月連続マイナス*
その他雑貨	2.3	0.1	5か月ぶりプラス*
雑貨	0.8	0.1	5か月ぶりプラス
家具	-10.8	-0.2	5か月連続マイナス
家電	4.7	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	0.6	0.0	5か月ぶりプラス
家庭用品	-2.4	-0.1	5か月連続マイナス
生鮮食品	-1.9	-0.1	5か月連続マイナス*
菓子	-0.1	0.0	3か月連続マイナス*
惣菜	0.4	0.0	5か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.9	-0.1	5か月連続マイナス*
食料品	-0.6	-0.2	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.8	-0.1	5か月連続マイナス
サービス	-0.9	0.0	3か月連続マイナス
その他	5.2	0.1	3か月連続プラス
商品券	-4.0	-0.1	42か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>